

平成23年度 十和田市指定管理者総合評価シート

施設名	十和田市営共同牧野		
指定管理者名	田代牧野畜産農業協同組合		
指定期間	3年中3年目	平成21年4月1日～平成24年3月31日	
施設の設置目的	市営放牧場は、肉用牛の夏山冬里管理方式の放牧場として、また、豊富な草資源を活用した良質な粗飼料生産供給地として、畜産農家へ施設を提供することにより、生産コスト低減や経営安定を促す等、畜産業の活性化への支援を行い、本市の畜産振興を目的として設置したものの。		
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・使用の許可に関する業務 ・維持管理に関する業務 ・共同牧野業務 		
施設管理に要する総事業費	53,800 千円		
指定管理料	53,800 千円		
施設管理に要する総人件費	25,828 千円		
指定管理施設で就業する全職員数	常勤職員	8 人、	非常勤職員 5 人

施設所管課	畜産農地課
-------	-------

評価項目	評価の視点	評価	評価の理由
管理運営状況	開牧期間、開牧時間の状況	施設によるサービスが協定等に基づき適切に提供されている。	B 協定等に基づき、サービスが適正に提供されている。
		協定等で定めた利用時間が遵守されている。	B 協定等に定められた内容が遵守されている。
		協定等で定めた利用日が遵守されている。	B 協定等に定められた内容が遵守されている。
		協定等で定めた利用期間が遵守されている。	B 協定等に定められた内容が遵守されている。
	使用許可の状況	手続が円滑に行われている。(手続に要する書類が整備されているか)	B 手続きは円滑に行われ、書類も整備されている。
		処理が適正に行われている。(事務処理に時間を要していないか)	B 事務処理に時間をかけることなく適正に行われている。
	適正な人員配置	施設サービスの提供のため、必要な人員数が確保されている。	B サービス提供に必要な人員が確保されている。
		人員配置が過剰、過少ではない。(直営時又は類似施設と比較)	B 過剰でも過少でもなく適正な人員配置となっている。
		必要な資格、経験を有する人員が適切に配置されている。	B 家畜人工授精師、大型特殊自動車免許等の有資格者が適切に配置されている。
		技能、技術等を維持向上するための研修等を定期的かつ適切に実施している。	B 職員間において、適切に実施している。
法令の遵守	関係法令を遵守していると認められる。	B 遵守していると認められる。	

評価項目		評価の視点	評価	評価の理由	
(管理運営状況)	維持管理業務(清掃、警備など)	利用者が快適に利用できるよう、また、施設の安全な管理設備機器等について協定等に基づき、定期的に安全確認を行っている。	B	定期的に点検と安全確認を行っている。	
		清掃について、清潔を保つために必要な回数が適切に実施されている。	B	定期的な清掃を実施している。	
		利用者の安全を保つために必要な措置(立入禁止区域の指定及び危険箇所の注意喚起等)が適切に実施されている。	B	注意喚起をする看板を設置し、適切に実施している。	
		協定に基づき、指定管理者が行うものとされる修繕について、適切に実施されている。	B	適切に実施されている。	
		修繕内容について、市に報告が行われている。	B	適切に報告されている。	
		法定点検が確実に実施されている。	B	車両等の法定点検が確実に実施されている。	
	文書の管理保存	施設の管理記録が整備されている。	B	管理記録は、整備されている。	
		管理記録(施設の利用状況及び定期点検の実施状況等の記録)について定期的に市に報告が行われている。	B	定期的に報告が行われている。	
		管理記録、管理に係る書類等の保存が、適切に行われている。	B	書類等の保存は、適切に行われている。	
	報告書等の提出	事業計画、月例報告、事業報告その他報告等の提出や内容が適切である。	B	適切に行われている。	
	備品の管理	備品台帳を基に適切な管理が行われている。	B	適切な管理が行われている。	
		利用者への設備・備品の貸出について、問題が生じていない。	B	問題は生じていない。	
		提供・貸出について、利用者からの苦情が少ない。	B	提供・貸出について苦情はない。	
	運営状況	施設利用状況	近年又は市の直営時と比較して、利用実績が妥当である。	B	利用実績は、妥当である。
		サービスの向上に向けた取組	市民のニーズを踏まえて、施設サービス・事業等の見直しを市とともに的確に行っている。	B	サービスの見直しを行い、的確に対応している。
費用対効果の観点から、施設サービス・事業等の実施方法等を見直し、より効率的・効果的な実施に努めている。			B	効率的・効果的な実施に努めている。	
職員の接遇(言葉遣い、態度、服装等)が適切である。			B	概ね適切に接遇している。	
接遇について、研修等を定期的かつ適切に実施している。			B	職員間において、適切に実施している。	
	直営時と比較して、苦情が少ない。	B	直営時と比較して苦情は少ない。		

評価項目		評価の視点	評価	評価の理由
指定管理料	指定管理料の執行状況	市と協定した予算の範囲内で、適正かつ効率的に予算を執行している。	B	適正に執行されている。
	経費節減状況	費用対効果の観点から、経費を縮減する努力が行われている。	B	経費を削減する努力はしている。
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されている。	B	適切に行われ、最小限となるよう工夫している。
		利用者一人当たりのコスト(支出/延べ利用者数)について、直営時又は前年度と比較して、大きな変化がなく安定している。または利用者が増え、コストが低く抑えられていて効率的な運営が行われている。	B	前年度から大きな変化がなく安定している。
		外部委託率(外部委託額/支出)について、直営時又は前年度実績と比較して、大きな変化がなく外部委託し過ぎでない。又は率が低く抑えられており、経費節減に取り組んでいる。	B	前年度から大きな変化がなく適正な委託をしている。
経理区分	法人等の会計と指定管理料の会計が適切に区分されている。(口座が指定管理用として設けられている。)	B	適切に区分されている。	
危機管理対策	事故防止対策	利用者の安全確保対策を徹底している。	A	入退牧時に職員が立ち会い、安全確保を徹底している。
		安全対策について、研修等を定期的かつ適切に実施している。	B	職員間において、適切に実施している。
		事故等の緊急時に迅速に対応できるように、責任者の設置や職員間の役割分担等の内部組織体制が適切に整備されている。	B	責任者を設置し、役割分担がされている。
		事故等の緊急時に迅速に連絡・報告し、指示を受けるための連絡網や市との連絡体制が適切に整備されている。	B	適切に整備されている。
		事故等の緊急時の職員の対応マニュアルが整備され、かつ、訓練等が行われている。	B	適切な対応が行われている。
		実際の緊急時には、適切に対応できていた。	B	適切な対応がされている。

評価項目		評価の視点	評価	評価の理由
その他	保険の加入状況	賠償の規模が、市がこれまで直営で行ってきた賠償額と同等以上である。 (募集要項で要求していた基準を維持している。)	B	適切に対応されている。
	守秘義務	管理の業務上知り得た秘密の漏えい防止のために必要な措置が講じられている。	B	必要な措置を講じている。
	個人情報保護	指定管理者が管理する個人情報について、漏えい、紛失等の事故防止対策が適切に講じられている。	B	事故防止対策が適切にされている。
		指定管理者が管理する個人情報について、目的外利用が行われていない。	B	目的外利用は行われていない。
	情報公開	管理を行う施設に関する情報の開示及び情報提供のために必要な措置が講じられている。	B	必要な措置を講じている。
連絡調整等	関係団体、地域との連絡調整等が、必要に応じ、適切に実施されている。	A	家畜保健衛生所等との連絡調整を適切に実施していることにより、放牧管理等が適切に行われている。	

【 講 評 】 評価の結果について総合的な評価内容を文章により記入する。

牧野施設の管理運営について、協定に基づいた事業が適正に実施されていることから、指定管理業務は、適切に行われている。